

平成27年11月24日

九州地方整備局 九州防災・火山技術センター
土砂災害対策分室（川辺川ダム砂防事務所）**大規模土砂災害に対する整備局職員等の技術力を向上!!**

～「大規模土砂災害発生時の緊急調査手法に関するスキルアップを実施します～」

（取材依頼）

近年、大規模な土砂災害が頻発しており、H23年5月には土砂災害防止法が改正され、大規模な土砂災害が急迫している場合は国が緊急調査を行うなど、土砂災害への対応力強化が求められています。九州地方整備局では、土砂災害に迅速・的確に対応するため、川辺川ダム砂防事務所（熊本県球磨郡相良村）に新たに九州防災・火山技術センター『土砂災害対策分室』を設置するなど、技術力の強化に努めています。

このたび、九州地方整備局職員等を対象に、大規模者災害発生時の緊急調査手法に関するスキルアップを実施することになりましたのでお知らせします。

【スキルアップのポイント】

- 川辺川流域をフィールドに実際の危険渓流緊急調査時に必要となるレーザー計測機器等を活用した現地調査訓練
- 川辺川流域を研究対象とする土砂災害の専門家（学識者）による不安定土砂の見立て方等の実地講習、講演
- 専門家による講演には近隣自治体の職員も参加

■日 時：平成27年11月26日（木）11：00～17：15（予定）

平成27年11月27日（金） 9：00～12：00（予定）

■場 所：以下の「危険渓流現地調査」以外は川辺川ダム砂防事務所

➢ 危険渓流現地調査（球磨郡五木村築切）

11月26日（木）13：50～17：15（予定）

■受講生：九州地方整備局職員 20名、北海道開発局職員 1名 合計21名

■内 容：別紙「カリキュラム（案）」のとおり

以下の講演に関しては、人吉市・球磨郡の自治体の方々にも
ご案内しております。

- 講演名：最近の土砂災害の特徴と対策
- 講 師：鹿児島大学農学部 地頭菌 隆 教授
- 日 時：11月27日（金）9：00～10：20（予定）

お問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 九州防災・火山技術センター

土砂災害対策分室（川辺川ダム砂防事務所）

技術副所長 鬼塚 英文（おにつか ひでふみ）

工務第二課長 原田 隆二（はらだ りゅうじ）

電話 (0966) 23-3174（代表）

平成26年度 大規模土砂災害発生時の緊急調査研修の実施状況

- 現場活用型スキルアップとして、川辺川ダム砂防事務所管内において「**大規模土砂災害発生時の緊急調査訓練**」を実施。
- 九州地方整備局管内の事務所及び沖縄総合事務局の職員、総勢14名が受講
- 土砂災害専門家による基調講演、危険渓流の現地調査、危険渓流調査結果のとりまとめ等を実施。

◆日時・場所 平成27年2月16日(月)、17日(火) 川辺川流域(五木村築切地区、横手谷地区)

- ◆訓練内容
- ①土砂災害専門家による基調講演
 - ②危険渓流調査(不安定土砂の見立て方等)
 - ③レーザー計測器による堆積土砂量の測定 等



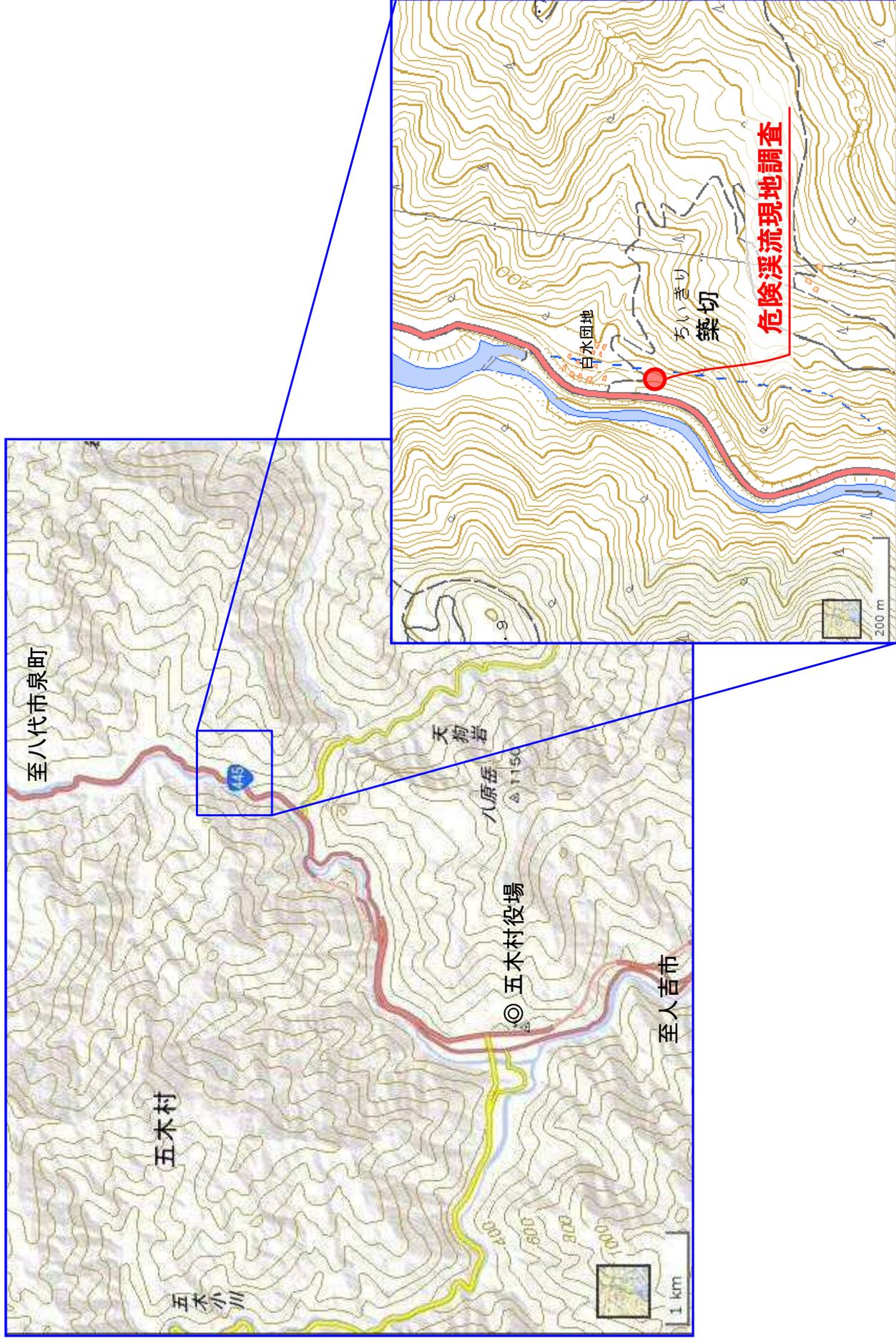
別紙

平成27年度 現場活用型スキルアップ「大規模土砂災害発生時の緊急調査手法に関するスキルアップ」カリキュラム(案)

月日	8:40	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:15
11月26日 (木)	0	10	0	50	50	50	50	50	20	【車移動】 五木村 ↓ 事務所
	挨拶・概要説明 川辺川ダム砂防事務所		広島土砂災害TEC体験報告 九州防災・火山技術センター 土砂災害対策分室	昼食 (所内)	危険渓流調査実施要領説明 九州防災・火山技術センター 土砂災害対策分室	【車移動】 事務所 ↓ 五木村築切	危険渓流現地調査 九州防災・火山技術センター 土砂災害対策分室 鹿児島大学地頭園教授			
11月27日 (金)	0	20	10	10	10	※ 講師の都合によりカリキュラムが変更になる場合があります。				
	基調講演 鹿児島大学 地頭園教授		危険渓流調査結果様式作成演習 九州防災・火山技術センター 土砂災害対策分室	調査結果に関する意見交換 九州防災・火山技術センター 土砂災害対策分室						

※本研修で講師を予定している九州防災・火山技術センター及び土砂災害対策分室の部署：企画部、河川部、川辺川ダム砂防事務所

危険溪流現地調査位置図（球磨郡五木村築切）



【参 考】

九州防災・火山技術センター『土砂災害対策分室』

■土砂災害分室の概要

九州地方整備局では、平成24年に大規模災害時における対応の一層の高度化・円滑化を図るため、福岡県久留米市に「九州防災センター」を設置、平成25年には、火山防災技術の高度化・効率化をより一層推進するため、火山技術部門を追加し、「九州防災・火山技術センター」として機能強化・拡充を進めてきました。

平成27年9月1日、近年頻発する土砂災害に迅速・的確に対応するため、川辺川ダム砂防事務所（熊本県球磨郡相良村）に新たに九州防災・火山技術センター『土砂災害対策分室』を設置しました。

■土砂災害対策室の主な取り組み

①技術開発

川辺川流域の急峻な山地部を活用して、土砂災害対策に有用な機器の開発・運用方法の開発を実施

②研修・訓練の実施

職員を対象に大規模土砂災害発生時の緊急調査等の実地訓練を実施

③避難に関する住民・自治体支援

九州山地内に位置するモデル地区において、自治体を対象とした訓練等の実施と検証

④地域単位での連携方策検討

現場レベルでの連絡会議や合同訓練の開催、関係機関の役割分担表の作成・共有等、出先機関の連携強化のための取り組みを実施